

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 2-1-1	事務事業名 低公害車の普及促進(庁用車の低公害車購入)	所管部課 総務部 管財課
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 環2-3	施策名 公害対策の推進	施策目標 自然や市民生活を守るため、公害のない環境づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	地球温暖化対策のため低公害車の導入を積極的に進める。また、市が率先して低公害車を導入することによって、低公害車の普及促進、市民への大気汚染防止に対する意識啓発を行う。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 該当する予算事業名・節目を明記する		
	共用車の買換え時の基本を東京都指定低公害車レベル基準以上のものとし、東京都指定低公害車を購入する。 買換えの際は特殊用途以外は軽自動車の購入を基本としている。 予算費目 2.1.6 庁用車維持管理費 備品購入費		
事業開始時期	平成14 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)				1,445	2,310	6,101
財源 内 訳	国庫支出金・都支出金	千円					
	地方債						
	その他 ( )						
	一般財源		1,445	2,310	6,101	4,046	
所要人員(B)			人	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)			千円	816	827	827	827
臨時職員等賃金(C')			千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')			千円	2,261	3,137	6,928	4,873
単位当たりコスト (E)=(D)/ ( 購入台数 )			千円	1,131	1,046	1,732	2,436

評価指標の設定	活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
	低公害車の購入	実績値	台	2	3	4	2	
	実績値							
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成18年度 既存車老朽化により2台(軽自動車)買換え 平成19年度 既存車老朽化により3台(軽自動車)買換え 平成20年度 既存車老朽化により3台(軽自動車)買換え、法規制による1台(マイクロバス)買換え 平成21年度 既存車老朽化により2台(内1台ハイブリッド車)買換え予定								
成果指標	成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
	一次	低公害車導入率	目標値	%	35.0	50.0	66.7	76.2
		実績値	%	35.0	50.0	66.7		
	二次	目標値						
実績値								
(指標の説明・数値変化の理由 など) 管財課所有共用車に占める低公害車の割合								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	環境基本計画策定において平成19年度に実施したアンケートでは、地球温暖化対策を優先課題としてあげた市民が7割以上いたことから、地球温暖化防止に対する市民意識の高さが窺える。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	圏域5市における低公害車の導入率を比較すると、小平市に次いで2番目に高い水準となっている。 【19年度末低公害車導入率】 小平市 53%、東村山市 21%、清瀬市 37%、東久留米市 13%、西東京市 50%
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 2-1-1	事務事業名 低公害者の普及促進(庁用車の低公害車購入)	所管部課 総務部 管財課
----------------	--------------------------------	-----------------

施策コード 環2-3	施策名 公害対策の推進	施策目標 自然や市民生活を守るため、公害のない環境づくりをめざします。
---------------	----------------	--

### 【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 2-1-2	事務事業名 田無庁舎整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	市庁舎及びこれに付随する設備機器の計画的かつ効率的な保全を実施することで、来庁者の安全性と利便性の確保を図る。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等		
	・庁舎総合管理を民間委託し、老朽化が進む庁舎の補修計画をたてながら、必要最小限の修繕・改修を行う。 ・平成22年度は、事前の雨漏り防止を目的に議会棟の屋上防水改修工事を行う。 ・平成23年度は、電話通話状況に不具合を生じている実態を踏まえ、庁舎間及び外部施設への電話交換機設備の取替えを行う。		
事業開始時期	平成22 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)				20,895	52,500	
内訳	国庫支出金・都支出金	千円					
	地方債						
	その他 ( )						
	一般財源		0	20,895	52,500		0
所要人員(B)	人		0.30	0.30			
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	2,481	2,481		0	
臨時職員等賃金(C')	千円						
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	23,376	54,981		0	
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ ( )	千円	#DIV/0!	23,376	27,490		#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
		屋上防水改修工事箇所	目標値	箇所		1		
	電話交換機設備取替え	目標値	台			2		
(指標の説明 など) 屋上防水工事箇所(議会棟1箇所) 田無庁舎、保谷庁舎に設置されている電話交換機設備の取替え台数。								
評価指標の設定	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一次	工事箇所数	目標値	箇所		1	2	
			実績値					
	二次		目標値					
		実績値						
(指標の説明 など)								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	両庁舎間及び外部施設への電話通話状況で不具合が生じ、スムーズに用件を果たせないという声が、数多く上がっており、改善要望が強い。	
	事業実施上における制約や 財源確保等	電話交換機設備については、両庁舎に設置している2台を同時期に取り替えないと効果が生じない。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 2-1-2	事務事業名 田無庁舎整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

### 【一次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		<input checked="" type="checkbox"/> 事業化  <input type="checkbox"/> 実施を延期  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>田無庁舎は建設後26年経過しており、市の責務として、計画的に修繕・改修することで、来庁者の安全を確保するとともに、施設及び設備機器の性能の維持・向上を図ることが必要である。議会棟屋上は建設時以来防水補修を実施しておらず、適切な施設保全の観点から、防水工事を実施する必要がある。また、現在の電話交換機は市民から電話による通話の不具合を指摘されることが多く、市民サービス向上の観点から、早期に取替工事を実施する必要がある。</p> <p>今後は、1市2庁舎体制の問題を念頭に置きつつ、補修の優先順位をつけ、計画的に事業を進めていくことが課題となる。</p>
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		<input checked="" type="checkbox"/> 事業化  <input type="checkbox"/> 実施を延期  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>田無庁舎・保谷庁舎間の電話について最近特に不具合が頻発しており、市民に対する利便性を著しく損なう事態となっている。</p> <p>屋上防水工事の必要性が薄れているとは言えないが、比較すると、電話交換機設備の取替えの方が、より緊急性が高いと思われる。事業実施の順番の見直し等の検討が必要と思われる。</p> <p>屋上緑化や、ソーラーシステムの導入等をあわせて検討し、補助金や交付金等財源確保にも積極的に取り組む必要がある。</p>
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 2-1-3	事務事業名 保谷庁舎・敷地整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	----------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	合併時に現行庁舎を有効活用すると決定したことを踏まえ、市民サービスや事務執行の効率性の向上を図るため、保谷敷地整備計画に基づき、東京都道路建設計画への対応も考慮しながら、庁舎の改修、敷地内・その周辺の整備及び敷地内の緑化を行う。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等	

庁舎周辺の3.2.6号線など都市計画道路の整備に合わせて、平成20年度(実施設計、解体工事等3件を実施)から22年度にわたり、保谷庁舎の敷地整備及び敷地内の緑化等を行う。平成21年度は、こもれびホール駐車場整備工事、北側駐車場整備工事(庁用車専用)、保谷南分庁舎整備工事及び現庁用車専用駐車場解体工事を行い、平成22年度は北側市民広場(緑地)整備工事・南分庁舎の追加工事を行う。各事業を行うに当たっては、みどりや環境に配慮して実施する。

事業開始時期	平成20	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他           ( )
--------	------	----	------	--

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)			300,592	50,137		
内: 国庫支出金・都支出金							
内: 地方債		千円					
内: その他 (まちづくり整備基金)			300,592				
内: 一般財源			0	50,137	0		0
所要人員(B)		人	0.75	0.75			
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	6,202	6,202	0		0
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	306,794	56,339	0		0
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ (工事実施件数)		千円	76,698	28,169	#DIV/0!		#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	工事实施件数	目標値	件	4	2			
緑化面積	目標値	%	7.35 (1808.95㎡)	16.68 (3783.60㎡)				
(指標の説明 など) 主工事の実施件数を記載。 緑化面積については一団地認定の基準を基に増築する。標記は全敷地面積に対するパーセント。( )内は緑化実面積。								
成果指標	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一次 駐車場台数(市所有)	目標値 実績値	台	134	157			
二次 事業件数の進捗率	目標値 実績値	%	78	100				
(指標の説明 など) 駐車場の台数は市所有の土地。21年度は他に32台分の借地駐車場を利用。22年度には借地駐車場はなしの予定。 敷地整備事業(20~22年度)の総工事件数の9件を分母として、21年度までに7件、22年度までに9件実施の予定で進捗率を記載。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成19年10月に実施した環境に関する市民アンケートでは、市が優先的に解決すべき課題として、回答した市民のうち74.9%が「二酸化炭素の増加による気候変動(地球温暖化)」、51.8%が「ヒートアイランド対策」を挙げている。市民ニーズに基づき策定した環境基本計画では、「良好な生活環境の確保」「みどりの保全・育成」を基本方針としている。事業の推進にあたりこれらの事に配慮して設計等事業執行する。
	事業実施上における制約や財源確保等	都市計画道路3.2.6号線の用地として、こもれびホール来客用駐車場の一部が予定されており、14台分の駐車スペースを失う。敷地内整備に伴う建築確認申請時に、一団地認定の条件として敷地内緑化が必要とされる。ソーラーシステム設置等の地球温暖化対策と一体的な事業を行い、国庫補助金の対象となるよう申請する。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無           特になし

事業コード 2-1-3	事務事業名 保谷庁舎・敷地整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	----------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

### 【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化  <input type="checkbox"/> 実施を延期  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化  <input type="checkbox"/> 実施を延期  <input type="checkbox"/> 抜本的見直し  <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	